

第2回山武市家庭教育学級講演会より

演題「生きる力を育む家族～家族が元気になる魔法の言葉～」

講師 福井嗣泰氏(江戸川大学社会学部人間心理学科教授)

11月にのぎくフラザで開催されました第2回山武市家庭教育学級講演会では、本校PTA役員の方々にも参加いただきました。各ご家庭での子育てに役立てていただきたく、下記に講演の内容を簡単にまとめさせていただきましたので御活用ください。

【講演要旨】

- 自分が幸せになるには家族が幸せでないといけない。家族を幸せにする魔法の言葉は「ありがとう」「私、幸せ」…家庭で母親がそういう言葉を発していればみんな笑顔の家族になれる。
- 子どもにお友達フレッシャーを与えない
「良い友だちをつくりなさい」「お友達できた？」と聞いてしまうが、いい友達ができないことも多い。それでも親に聞かれ続けると、いやでも、いじめられていても今の友達グループにしがみつくことがある。それによる悪影響が大きいので、子どもには「友達は作らなくていいから、誰とでも話せる人になれ、誰とでも一緒にできる人になれ、誰とでも力を合わせられる人になれ」と言おう。
- 「どうしてあなたはできないの！」と言ってしまいがちだが、これは全人格否定になっている。「ちゃんとやいなさい。できるようになるから。あなたはできるから。」と人格否定にならない言い方をしよう。

平成25年度 山武市安心な街づくり大会より サイバー犯罪の現状と対策

【インターネットに潜む危険】

トラブル防止のための対策

- ウィルス対策ソフトは定期的に更新する。
- 個人的な情報は掲載しない
- ルールとマナーを守る。
- 知らない相手からのメールは開かず削除する。
- 怪しいWebサイトに近づかない。
- ネットで知り合った相手を信用しない。

【スパムメール対策】

※スパムメールとは？

何らかの方法で入手したメールアドレスに対して、無差別に本人に許諾を得ずに一方的に営利目的の広告メールを配信すること！メールボックスの容量や回線資源を無駄遣いし、受信者に有無を言わせず選別・削除作業の負担を強いるため、大変迷惑な行為だが、送信側は低コストで実行可能なため、根強く行われている。

(対策)

- 読まずに捨てるか無視する。
- 利用規約を読む
- 返事を出したり抗議をしない。
- おやみに登録しない。

(安易に登録するからアドレスを知られてしまう。)

平成24年度千葉県内における出会い系サイトによる被害者は264名、そのうち218名が18歳未満であり、被害内容は児童売春や強制わいせつ、脅迫などです。県警の調べによると、被害にあった児童・生徒がメールやインターネットの危険について、保護者から指導された生徒の割合は、5割以下であることが明らかになりました。今一度家庭内で携帯電話やインターネットの利用について、お子様と確認してください。お子様を危険から守るのは保護者の責任です。